

◇◇五種混合（百日咳・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ・ヒブ） 予防接種説明書◇◇

【五種混合予防接種とは】

百日咳、ジフテリア、破傷風および急性灰白髄炎（ポリオ）、ヒブの予防を行うための予防接種です。それぞれのウイルスを不活化させ、混ぜ合わせたワクチンです。

*不活化ワクチンとはウイルスを不活化し、免疫をつくるのに必要な成分を取り出して、病原性をなくしてつくったものです。

【五種混合予防接種の副反応】

注射の跡の腫れ・赤み・痛み・しこり・発熱がみられることがあります。また、咳・発疹・下痢・便秘・嘔吐・食欲低下などの消化器症状や、鼻水・喉の腫れ・目の痒み・脱水・気分の変化などが報告されています。

まれに、重大な副反応として、ショック・アナフィラキシー様症状・血小板減少性紫斑病・脳症・けいれんなどあらわれる事がありますので、接種後は十分に観察を行ってください。

【予防接種を受ける前に】

予診票は接種をする医師にとって、予防接種の可否を決める大切な情報です。保護者本人が責任を持って記入し、正しい情報を接種医に伝えてください。医師から十分に説明を聞き、理解した上で（接種する・接種しない）を判断して下さい。

【予防接種を受ける事ができない人】

- ① 一般的に体温が37.5℃以上の場合
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
- ③ 本剤の成分によってアナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな人
- ④ その他、医師が不適当な状態と判断した場合

【予防接種を受けるに際し、担当医師とよく相談しなくてはならない人】

- ① 心臓血管疾患・腎臓疾患・肝臓疾患・血液疾患・発育障害などの基礎疾患がある人
- ② 予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた人。全身に発疹などのアレルギーを疑う症状をおこした事がある人
- ③ 過去にけいれんを起こしたことがある人
- ④ 過去に免疫不全の診断を受けた人。また近親者に先天性免疫不全の人がいる人。
- ⑤ 五種混合の接種液の成分に対して、アレルギーを起こすおそれのある人。

【接種対象者・接種間隔など】

1. 接種対象者

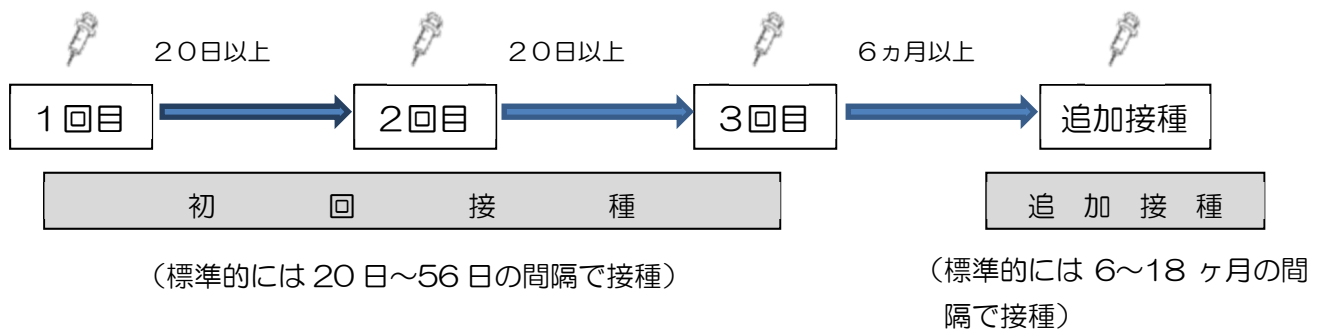
生後2ヶ月から7歳6ヶ月になる前日までの児

2. 接種回数・接種間隔

接種液を0.5mlずつを全部で4回、接種します。

初回接種：20日以上（標準的には20～56日）の間隔で3回です。

追加接種：初回接種終了後6ヶ月以上（標準的には初回接種終了後6ヶ月から18ヶ月）の間隔をおいて1回です。



【予防接種を受けた後の一般的注意事項】

- ① 五種混合ワクチン接種後24時間は副反応の出現に注意し、観察しておく必要があります。特に接種直後30分以内は健康状態の変化に注意してください。
- ② 食事や入浴などいつもの生活で大丈夫ですが、激しい運動はさけてください。
- ③ 気になる症状があれば接種医に相談して下さい。
- ④ 次回の接種スケジュールの確認を忘れないようにしましょう。

【予防接種健康被害救済制度について】

五種混合予防接種が原因で重篤な障害を残すなどの健康被害が生じた場合、厚生労働大臣が当該予防接種によるものと認定した場合は、予防接種法に基づく健康被害救済制度があります。

【問い合わせ先】

飯塚市	健幸保健課	地域保健係	電話	0948-96-8615
嘉麻市	子育て支援課	母子保健係	電話	0948-62-5715
桂川町	健康福祉課	健康推進係	電話	0948-65-0001

*住民票のある市町村にお問い合わせください。